

事務事業調査
平成26年度

事業No	785	課	スポーツ課	係	施設管理係	起案者	岩瀬重利
						決裁者	野畑伸
事務事業名		体育館施設管理事業			事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 5 スポーツ 1 スポーツ 5 スポーツ施設の効率的利用と整備充実 2 総合運動公園の機能充実				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-30-20			
					総合計画以外の計画		安城市スポーツ振興計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	有	安城市体育施設の設置及び管理に関する条例								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託		委託先		民間企業					
実施期間	開始	昭和54年度		経過	35年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		体育館施設利用者が [※]				~になる		快適な利用を常時できるようになる	
事務事業の内容	市民が体育、スポーツを通じて体力の維持増進を図るため、体育館施設の管理・運営を行います。									
改善・対策の履歴	利用者への安全環境・情報提供とともに利便性の向上を進めていきました。 平成25年度はアリーナのカーテンの修繕を実施しました。故障していたバスケットゴールのシリンダーの修繕を実施しました。施設及び備品修繕約9点、メンテナンス関係約17件を実施し施設利用の安定提供を実施しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	70,895	102,863	88,986	82,242	77,066
財源計	63,020	90,263	76,386	69,642	64,466
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	19,481	21,015	19,700	22,345
	一般財源	43,539	69,248	56,686	47,297
受益者負担金	19,481	21,015	19,700	21,403	18,782
職員人件費 (従事職員数)	7,875 (1.25)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)	12,600 (2.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	施設保守管理委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託経費(一式)	活動の総事業費(千円)	18,865	20,160	18,772	
			活動にかかるコスト(千円)	18,865.00	20,160.00	18,772.00	
活動2	活動名 (活動内容)	施設管理協会への業務委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	委託事業(一式)	活動の総事業費(千円)	13,560	13,449	0	
			活動にかかるコスト(千円)	13,560.00	13,449.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)	施設管理協会への補助金	見込	0.00	0.00	0.00	1.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助事業(一式)	活動の総事業費(千円)	0	0	13,605	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	13,605.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	指標名(単位)			目標	232.00	247.00	239.00	225.00
	体育館施設利用人数(千人)			実績	247.00	239.00	225.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	平成24年度利用者数(238,227人)アリーナ92,865人、卓球場52,453人、剣道場21,046人、柔道場32,880人、弓道場4,819人、その他(会議室等)34,164人 平成25年度利用者数(224,570人)アリーナ94,435人、卓球場52,804人、剣道場17,415人、柔道場31,072人、弓道場6,049人、その他(会議室等)22,795人

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	複数の業務を集約し、入札制度を活用することで活動コストを削減することができました。
成果	アリーナや卓球場、弓道場の利用人数は増加しましたが、それ以外の施設では減少しました。剣道場や柔道場の利用拡大を図る必要があります。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
施設が老朽化しているため、施設のメンテナンスに十分注意し体育館を安定的に利用できるよう管理します。施設の延命化を目的とした長期休館を見込んだ大規模な改修を計画していきます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	施設のメンテナンスを十分に行うことで、利用者への快適な施設利用サービスを提供することが可能と判断できることから、事業を継続していきます。